

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

24.12.2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2003年12月24日

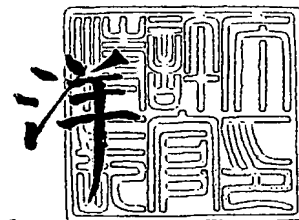
出 願 番 号  
Application Number: 特願2003-426048  
[ST. 10/C]: [JP2003-426048]

出 願 人  
Applicant(s): 株式会社瑞光

2005年 2月18日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

小 川



BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願  
【整理番号】 2012  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 A61F 13/15  
【発明者】  
    【住所又は居所】 摂津市南別府町 1 5 番 2 1 号 株式会社瑞光内  
    【氏名】 橘 育雄  
【特許出願人】  
    【識別番号】 591040708  
    【氏名又は名称】 株式会社瑞光  
【代理人】  
    【識別番号】 100102060  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 山村 喜信  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 027029  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 0001626

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

着用者の胴回りを締めるフィット部と着用者からの体液を吸収する吸収部と、を備えた着用物品であって、

前記吸収部の一端が前記フィット部に接続され、前記吸収部の他端が前記フィット部に接続され、

前記吸収部の一端又は他端のうち少なくとも一方が、前記フィット部に取外し可能に接続され、

カバーシートが、前記フィット部の少なくとも一部と、前記吸収部の少なくとも一部を覆う着用物品。

**【請求項 2】**

請求項 1 において、

前記カバーシートの一部には、該カバーシートを破るための加工が施され、

前記カバーシートの一部付近であって、前記吸収部又は前記フィット部には、前記取外し可能な部材が配置されている着用物品。

**【請求項 3】**

着用者の胴回りにフィットするリング状のフィット部と、着用者の股間を覆い体液を吸収する吸収部と、を備えた着用物品であって、

前記吸収部の一端が前記フィット部の腹部に接続され、前記吸収部の他端が前記フィット部の背部に接続され、

前記吸収部の一端又は他端のうち少なくとも一方が、前記フィット部に取外し可能に面接合され、

前記取外し可能な接合部における前記フィット部および前記吸収部の部分を覆うカバーシートが設けられていると共に、前記カバーシートが前記接合部において破断可能に設けられている着用物品。

**【請求項 4】**

請求項 3 において、前記フィット部の腹部の外表面に前記吸収部の内表面が面接合されている着用物品。

**【請求項 5】**

請求項 3 もしくは 4 において、前記カバーシートには該カバーシートを破断するために加工が施された破断部が形成され、該破断部に沿って前記カバーシートを破断すると、前記吸収部の一端または他端が露出するように構成されている着用物品。

【書類名】明細書

【発明の名称】着用物品

【技術分野】

【0001】

本発明は、使い捨てパンツやオムツなどの着用物品に関するものである。

【背景技術】

【0002】

下記の特許文献には、再装着可能な吸収性物品が開示されている。これらの特許文献には、接続部分を覆うカバーシートは開示されていない。

【特許文献1】特表2003-520627号公報（要約書）

【特許文献2】特表2003-526406号公報（要約書）

【特許文献3】特表2003-527153号公報（要約書）

【特許文献4】特表2003-529398号公報（要約書）

【特許文献5】特表2003-529399号公報（要約書）

【特許文献6】特表2003-530904号公報（要約書）

【特許文献7】特表2003-527152号公報（要約書）

【特許文献8】特表2003-528649号公報（要約書）

【特許文献9】特表2003-528650号公報（要約書）

【特許文献10】特表2003-529400号公報（要約書）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

本発明の目的は、取外し可能な部分を覆うことで、不用意に吸収部がフィット部から分離するのを防止することである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

前記目的を達成するために、本発明のある着用物品は、着用者の胴回りを締めるフィット部と着用者からの体液を吸収する吸収部と、を備えた着用物品であって、前記吸収部の一端が前記フィット部に接続され、前記吸収部の他端が前記フィット部に接続され、前記吸収部の一端又は他端のうち少なくとも一方が、前記フィット部に取外し可能に接続され、カバーシートが、前記フィット部の少なくとも一部と、前記吸収部の少なくとも一部を覆っている。

【0005】

本発明の別のある着用物品は、着用者の胴回りにフィットするリング状のフィット部と、着用者の股間を覆い体液を吸収する吸収部と、を備えた着用物品であって、前記吸収部の一端が前記フィット部の前部に接続され、前記吸収部の他端が前記フィット部の背部に接続され、前記吸収部の一端又は他端のうち少なくとも一方が、前記フィット部に取外し可能に面接合され、前記取外し可能な接合部における前記フィット部および前記吸収部の部分を覆うカバーシートが設けられていると共に、前記カバーシートが前記接合部において破断可能に設けられている。

【発明の効果】

【0006】

これらの着用物品は、着用した後に、前記カバーシートの一部を破断して、前記接合部を露出させ、吸収部をフィット部から剥がすことにより、吸収部とフィット部との接続を解き、吸収部の汚れの状態を確認したり、吸収部の一部を交換することができる。その後、必要に応じて、吸収部をフィット部に接続し、再装着することもできる。

一方、取外し可能な接合部に相当する部分をカバーシートで覆って保護することにより、前記接合部が不用意に剥がれるおそれもない。

【発明を実施するための最良の形態】

【0007】

本発明においては、前記カバーシートの一部には、該カバーシートを破るための加工が施され、前記カバーシートの一部付近であって、前記吸収部又は前記フィット部には、前記取外し可能な部材が配置されているのが好ましい。

カバーシートを破るための加工が施されていると、カバーシートを容易に破断することができる。

#### 【実施例 1】

##### 【0008】

以下、本発明の実施例を図面にしたがって説明する。

図 1 に示すように、本実施例の着用物品は、着用者の胴回りを締めるフィット部 1 と、着用者からの体液を吸収する吸収部 2 とを備えている。

##### 【0009】

図 2 (a) に示すように、フィット部 1 は、少なくとも 2 枚の不織布 10, 11 の間に弾性部材 12 が挟まれている。弾性部材 12 としては、糸ゴム、平ゴム、スクリーム、弾性体ホットメルト、フィルム、ウレタンフォーム等を用いてもよい。

フィット部 1 の形状はリング状であるが、無端状である必要はない。例えば、弾性部材 12 が挟まれた、腹部及び背部をそれぞれ生成し、それらをシールすることにより、フィット部 1 が生成されてもよい。

##### 【0010】

弾性部材 12 は、フィット部 1 の少なくとも一部の領域に設けられていればよい。たとえば、吸収部 2 が重なっている部分について、弾性部材 12 を設けないようにしてもよい。このような構造は、厚手の吸収部 2 がゴワツキにくいので、着用感が向上する。

##### 【0011】

吸収部 2 は、トップシート 20、コア 21 およびバックシート 22 を有している。吸収部 2 は、さらにトップシート 20 とコア 21 との間にセカンドシートを有していてもよい。トップシート 20 は、着用者の体液、例えば尿や血液を透過することができる。なお、トップシート 20 又は、セカンドシートは、体液が逆流することを防止する機能を有していてもよい。つまり、体液は、トップシート 20 からコア 21 に進むが、逆には殆ど流れない。

##### 【0012】

コア 21 は、体液を吸収保持することができる。かかるコア 21 としては、たとえば、パルプを解繊機（粉碎機）で繊維状に解繊（粉碎）したフラッフパルプや、該フラッフパルプに高吸水性ポリマー粒子（高分子吸収体）を混入したものを綿状に堆積させたものなどを採用してもよく、吸収性を有する。また、コア 21 として、又は、コア 21 の一部にエアレイドが用いられてもよい。

バックシート 22 は液を透過しない。バックシート 22 としては、ポリエチレンシート等が使用される。

##### 【0013】

図 1 (a) の吸収部 2 の第 1 端部（一端）23 は、取外し可能な接合部材 3 を介して、フィット部 1 の第 1 部 13 に取外し可能に接続され、吸収部 2 の第 2 端部（他端）24 はフィット部 1 の第 2 部 14 に接続されている。

取外し可能な接合部材 3 としては、面ファスナや粘着テープ等を用いてもよい。接合部材 3 は、フィット部 1 の第 1 部 13 又は吸収部 2 の第 1 端部 23 に取り付けられている。たとえば、雄面ファスナまたは雌面ファスナをフィット部 1 に固着し、雌面ファスナまたは雄面ファスナを吸収部 2 に固着してもよい。

このように、面接合されていることで、吸収部 2 の第 1 端部 23 をフィット部 1 から取り外すことができる。

##### 【0014】

図 2 (a) において、吸収部 2 はフィット部 1 の内側に取り付けてもよいが、フィット部 1 の外側に重ね合わせて取り付けることにより、フィット部 1 から容易に取り外すことができる。つまり、フィット部 1 の外表面に接合部材 3 を介して吸収部 2 の内表面を接合

するのが好ましい。

【0015】

図1(a)に示すように、カバーシート4は、少なくとも前記フィット部1と吸収部2とが重なった部分つまり接合部5を覆っている。図1に示す例では、カバーシート4がフィット部1の外表面の概ね全面を覆っている。このため、フィット部1上に配置された吸収部2もカバーシート4により覆われている。つまり、カバーシート4はフィット部1上の吸収部2の縁2eを覆っている。

このように、接合部5がカバーシート4に覆われていることにより、着用時に接合部5において吸収部2がフィット部1から不用意に外れたりするのを防止し得る。

【0016】

図1(a), (b)に示すように、カバーシート4には、破断部41が設けられている。すなわち、該カバーシート4が接合部5を覆っている部分には、カバーシート4を破るための加工が施されている。例えば、ハーフカットやミシン目により、破断部41が設けられている。前記破断部41に沿ってカバーシート4を破断することにより、図1(b)に示すように、接合部5の吸収部2が露出する。これにより、容易にフィット部1と吸収部2の接続を解くことができる。また、容易にフィット部1と吸収部2を再接続することもできる。破断部41としては、図2(b)のT字型、図2(c)のI字型の他、図2(d)の縦二本線であってもよい。

図1(b)に示すように、カバーシート4の裏面には、接合部材7が設けられている。カバーシート4の破断後に、接合部材7により、カバーシート4をフィット部1に接合することが可能となる。破断部41と接合部材7の配置は図5(a)～(f)に示す配置であってもよい。

【実施例2】

【0017】

図3(a), (b)は第2実施例を示す。

本実施例2の着用物品は、フィット部1、吸収部2、接合部材3及び押えシート6を備えた使い捨てオムツである。本実施例2では、カバーシート4が不織布10との間で弾性部材12を挟んでいる。押えシート6は着用者の表面に接触する側に配置されて、吸収部2の一部および不織布10の一部もしくは全部を覆っている。

【0018】

本実施例2では、フィット部1が破断部41を有している。すなわち、フィット部1のカバーシート4、不織布10および弾性部材12に破断部41が形成されており、破断部41では、弾性部材12が切断状態又は切断可能な状態にされている。

【0019】

このような状態にするために、フィット部1にエンボス加工が施される。エンボス加工とは、複数の凸部を有するエンボスロールとアンビルロールとでフィット部1を挟み込んだ状態で、熱、圧力、又はその両方をフィット部1の弾性部材12に加えることにより施される。なお、レーザ光線等を照射することにより、弾性部材12を切断状態又は切断可能な状態にしてもよい。

【0020】

なお、弾性部材12を前記破断部41に設けないようにして、破断部41の破断を可能としてもよい。

【0021】

吸収部2の内側および／または外側には、接合部材3が配置されていてもよい。すなわち、接合部材3による接合は、吸収部2の内側、吸収部2の外側、又は吸収部2の内外の両側で行われてもよい。特に、フィット部1と吸収部2とを接合部材3により接合すれば、フィット部1に対して吸収部2がズレにくいので、着用物品を着用者に安定した状態で着用させることができる。吸収部2の外側に接合部材3を配置する代わりに、フィット部1の内側に接合部材を配置してもよい。

【0022】

押えシート 6 と吸収部 2 を接合することにより、着用物品を着用者に着用することができるときには、必ずしも、接合部材 3 によるフィット部 1 と吸収部 2 の接合は必要ではない。

### 【実施例 3】

#### 【0023】

図 4 は実施例 3 の要部を示す。

吸収部 2 は、カフ 25 を有していてもよい。この場合、図 4 に示すように、押えシート 6 の中央部付近が所定の形状だけ切断されて、切欠部 50 が形成されていてもよい。中央部付近が切断されているため、フィット部 1 上の吸収部 2 の一部が押えシート 6 により覆われない。このため、フィット部 1 付近の吸収部 2 であっても、カフ 25 が防漏効果を発揮する。

#### 【0024】

フィット部 1 と吸収部 2 とが重なる幅  $W_1$  は、フィット部 1 の幅  $W$  の約  $1/5 \sim$  約  $4/5$  である。フィット部 1 と吸収部 2 の重なる幅  $W_1$  が、フィット部 1 の幅  $W$  の  $1/2$  を越えたとしても、押えシート 6 の中央部付近が切断されていると、吸収部 2 のカフ 25 の防漏効果が損なわれない。

#### 【0025】

以上のとおり、図面を参照しながら好適な実施形態を説明したが、当業者であれば、本明細書を見て、自明な範囲で種々の変更および修正を容易に想定するであろう。

たとえば、吸収部の両端をフィット部に対し取外し自在に接合し、該両方または一方の接合部をカバーシートで覆ってもよい。

また、カバーシートは接合部のみに設けられていてもよいし、腹部または背部の一方にのみ設けられて、接合部を覆っていてもよい。

したがって、そのような変更および修正は、請求の範囲から定まる本発明の範囲内のものと解釈される。

### 【産業上の利用可能性】

#### 【0026】

本発明は使い捨てオムツやパンツに適用し得る。

### 【図面の簡単な説明】

#### 【0027】

【図 1】本発明の実施例 1 にかかる着用物品の概略斜視図を示し、(a) はカバーシートを破断する前の斜視図、(b) は同破断後の斜視図である。

【図 2】(a) は同実施例 1 の要部の概略断面図、(b) ～ (d) は破断部の例を示す平面図である。

【図 3】(a) は実施例 2 にかかるオムツの要部を示す IIIa-IIIa 線における概略断面図、(b) は同オムツを展開した平面図である。

【図 4】実施例 3 にかかるオムツの要部を示す概略平面図である。

【図 5】実施例 1 にかかる破断部と接合部材の配置例を示す平面図である。

### 【符号の説明】

#### 【0028】

1：フィット部

2：吸収部

23：第 1 端部（一端）

24：第 2 端部（他端）

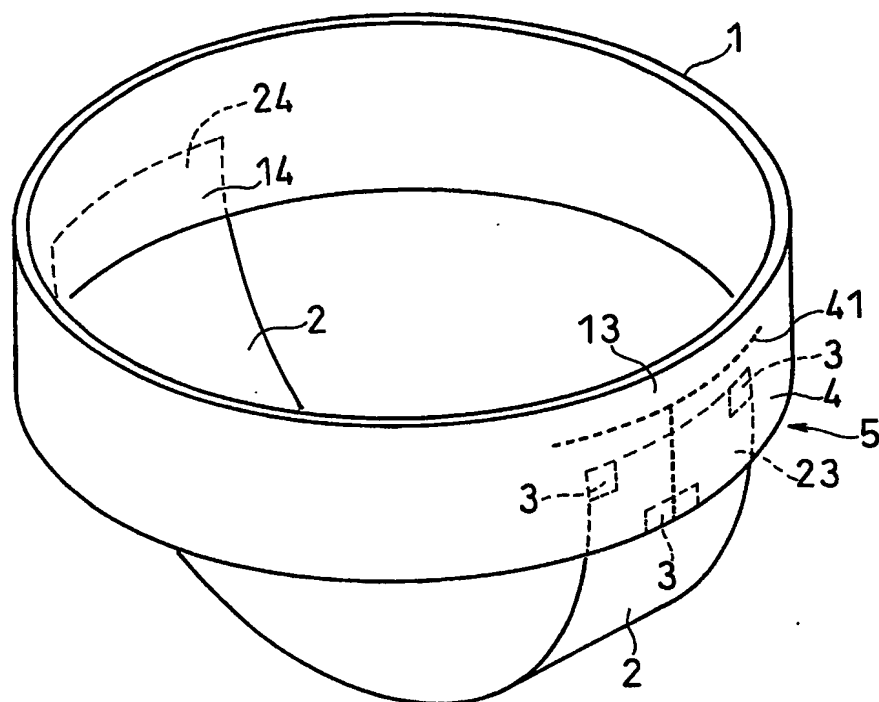
4：カバーシート

41：破断部

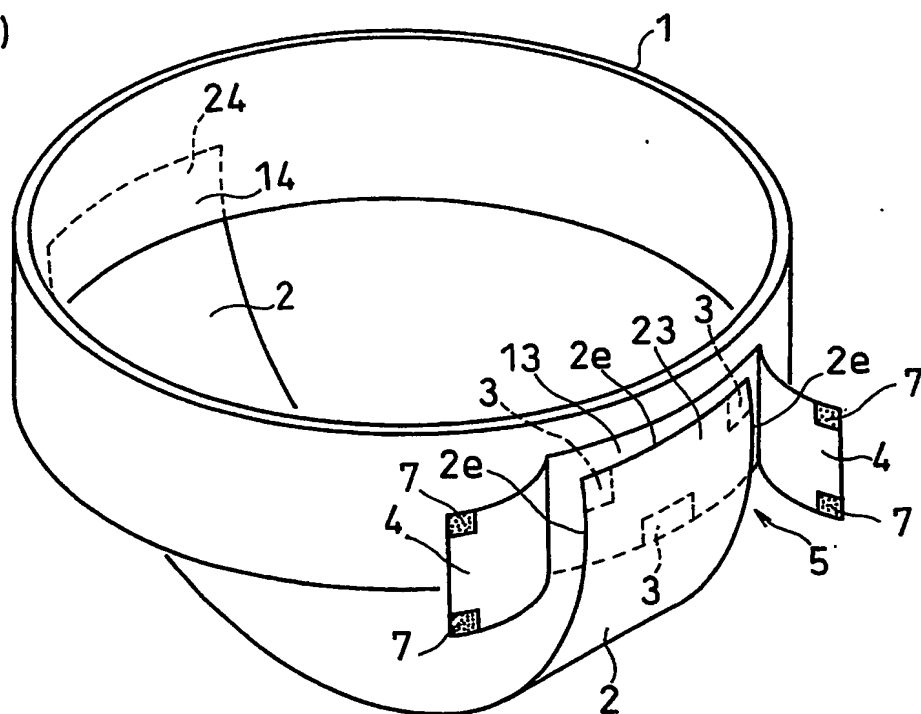
5：接合部

【書類名】 図面  
【図 1】

(a)

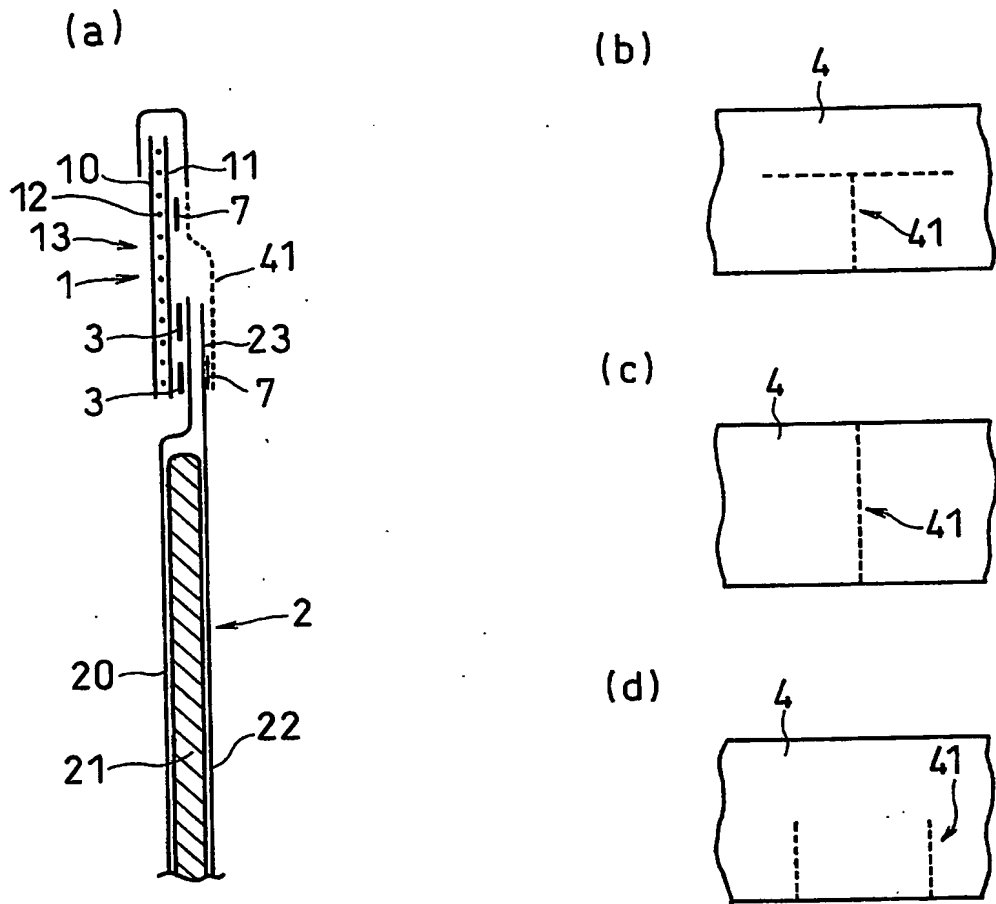


(b)

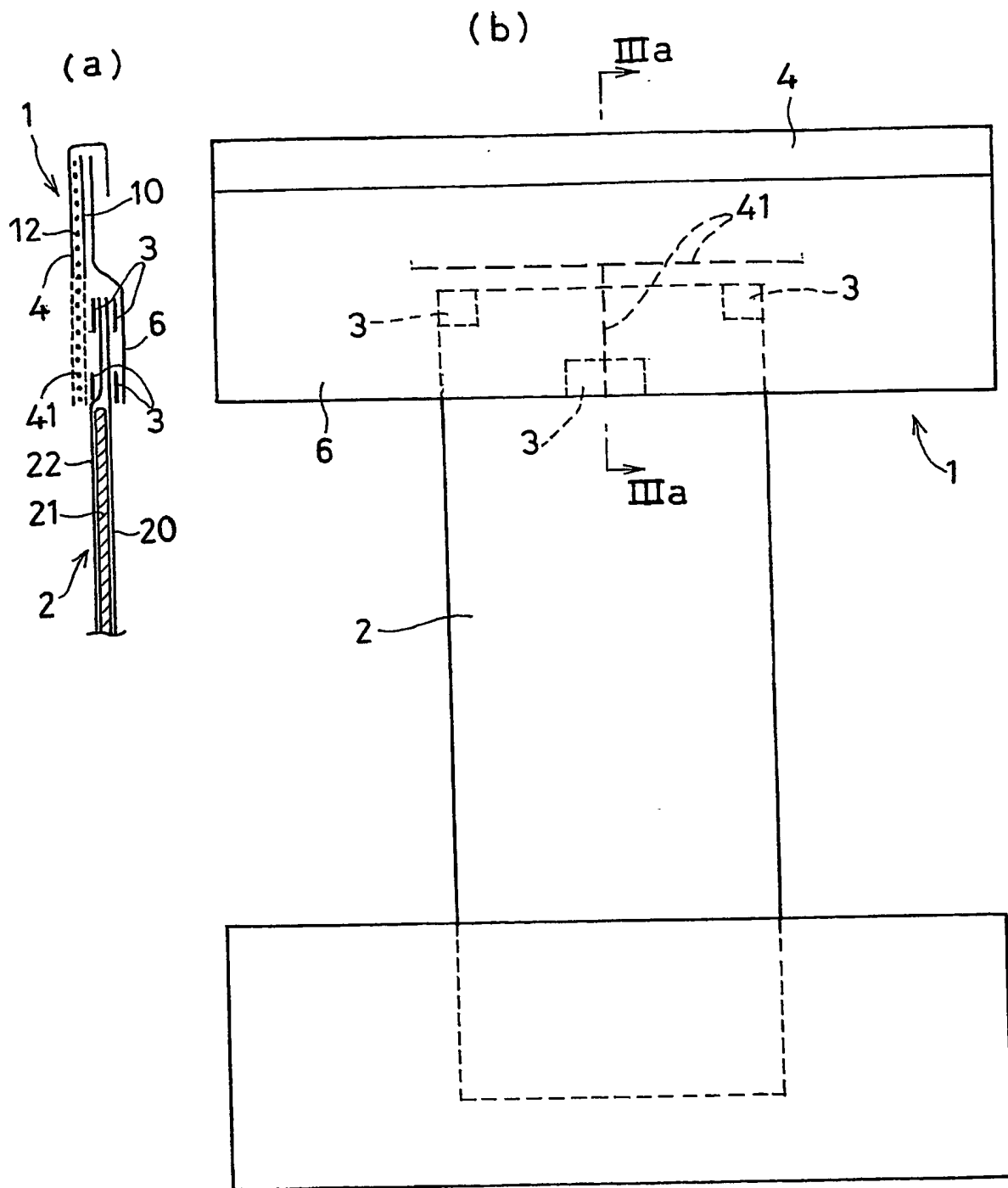




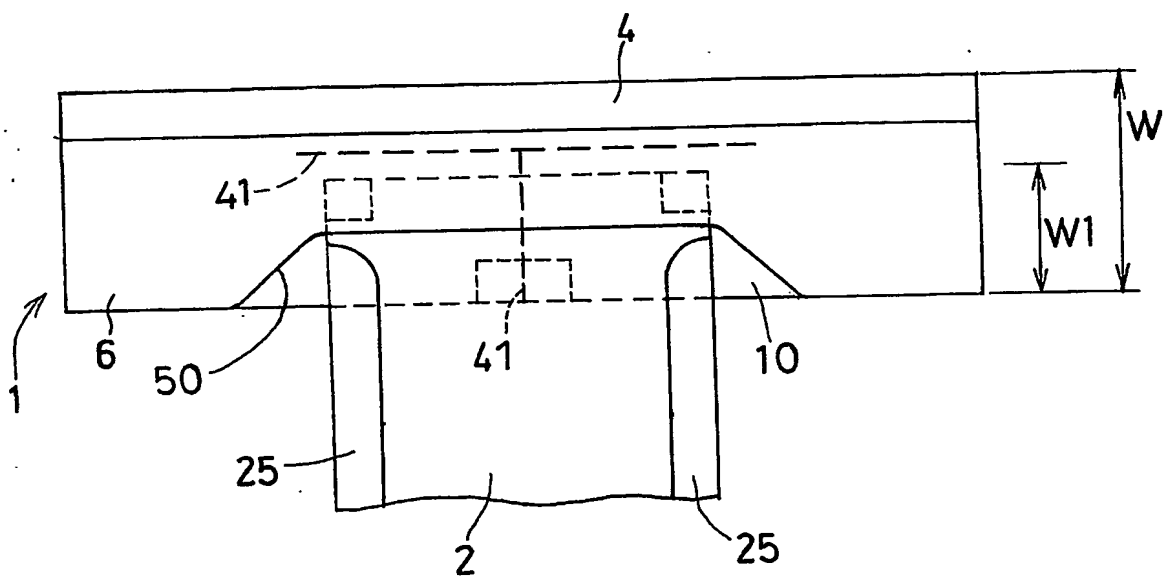
【図 2】



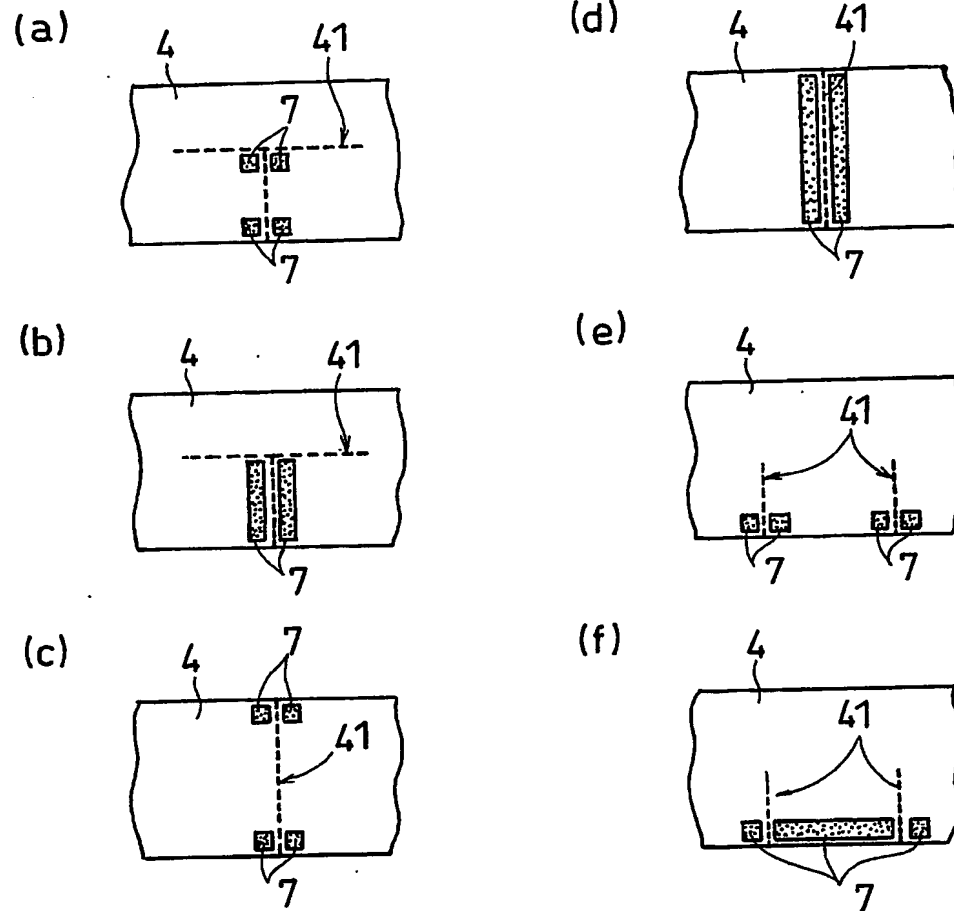
【図 3】



【図 4】



【図 5】



**【書類名】 要約書****【要約】**

**【課題】** 取外し可能な部分をカバーシートで覆うことで、不用意に吸収部がフィット部から解離するのを防止する。

**【解決手段】** 着用者の胴回りを締めるフィット部 1 と着用者からの体液を吸収する吸収部 2 とを備えた着用物品に関する。吸収部の一端 23 をフィット部 1 に接続し、吸収部 2 の他端 24 をフィット部 1 に接続し、吸収部 2 の一端 23 又は他端 24 のうち少なくとも一方を、フィット部 1 に取外し可能に接続し、カバーシート 4 が、フィット部 1 の少なくとも一部と、吸収部 2 の少なくとも一部を覆っている。

**【選択図】** 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2003-426048
受付番号	50302112756
書類名	特許願
担当官	第五担当上席 0094
作成日	平成15年12月25日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成15年12月24日

特願 2 0 0 3 - 4 2 6 0 4 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 5 9 1 0 4 0 7 0 8 ]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 1 2 月 2 0 日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府摂津市南別府町 1 5 番 2 1 号
氏 名	株式会社瑞光

# Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/019175

International filing date: 22 December 2004 (22.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP  
Number: 2003-426048  
Filing date: 24 December 2003 (24.12.2003)

Date of receipt at the International Bureau: 03 March 2005 (03.03.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland  
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record.**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**